

町民の帰還に向けた
緊急要望

平成25年6月26日

福島県檜葉町長 松本 幸英

東日本大震災及び福島第一原子力発電所事故の発生から2年3か月が経過しましたが、町民は依然として厳しい避難生活を余儀なくされています。

檜葉町は、昨年8月の警戒区域の見直しを受けて、ようやく復旧・復興に向けて本格的に動き始めたところですが、その歩みをスピード感のある確実なものとするため、去る5月24日に檜葉町復興計画〈第二次〉を取りまとめました。これにより、今次災害を乗り越え、檜葉の原風景を取り戻すのみならず、災害からの復興・再生のモデルとなるような「新生ならば」の創造を目指してまいりたいと考えております。

しかしながら、原子力発電所の安全対策、除染、廃棄物処理、インフラ復旧、雇用、住環境、教育環境などにおいて、復旧・復興の壁となる多くの困難に直面しており、原子力災害特有の問題の根深さ、克服の難しさを日々痛感しているところであります。

つきましては、こうした課題が解決され、一日も早く、町民が帰還し安心して生活できる環境を取り戻すために、当町の置かれている状況を改めて御理解の上、国の総力をあげて責任を持って取り組んでいただきますよう、次のとおり要望いたします。

要 望 事 項

- 1 原子力発電所の安全対策について 1
【経済産業省、資源エネルギー庁、原子力規制委員会、原子力規制庁】
- 2 原子力損害賠償の完全実施について 2
【復興庁、文部科学省、経済産業省、資源エネルギー庁】
- 3 既存事業者の再生と新たな産業の集積について 3
【経済産業省、資源エネルギー庁】
- 4 共同店舗整備に伴う財政支援について 5
【経済産業省、中小企業庁】
- 5 徹底した除染の実施と廃棄物の処理について 6
【復興庁、環境省】
- 6 双葉郡の子どもたちのための新たな高校等の整備について
【文部科学省】 8
- 7 檜葉中学校改築工事に伴う財政支援について 9
【文部科学省】
- 8 被災家屋の復旧支援について【復興庁】 10
- 9 今次の複合災害を踏まえた避難道路網等の整備について
【復興庁、国土交通省】 11
- 10 JR常磐線の早期再開について
【復興庁、国土交通省】 12